

【中小企業振興円卓会議】令和8年度専門部会 事業計画書

活動名	働きやすい職場づくり実践事業	
部会名	健康経営推進部会	
部会長・副部会長名	部会長 瀧上 悟	
代表団体名	公益社団法人松山法人会／一般社団法人愛媛県法人会連合会	
構成メンバー		
活動詳細	現状・課題	今後、更なる人手不足が予想され、女性活躍推進や外国人の受入れ、業務効率化に関する取組みが進むなか、技術やノウハウの維持、採用コスト削減、顧客維持のため定年延長等により人手を確保しようという動きもある。また、全世代で、より優秀な人材を確保し、その継続的な確保、パフォーマンス向上につながる施策の整備が不可欠と考える経営者が増えてきていることから、経営的な視点で支え、戦略的に働きやすい職場づくりを実践する「健康経営」への取組みを支援していきたい。
	活動内容	<p>1. 健康経営アウトリーチ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康経営の取組みを支援し、2027年度「健康経営優良法人」認定(経済産業省)を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> ○対象企業 支援企業 3社×4回以内 + 更新を希望する事業所への支援 5社×3回以内 ○2027年度「健康経営優良法人」申請事業所数 7社以上 ○社会保険労務士や健康経営アドバイザーなどの専門家複数名で担当し個別支援する。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒想定される支援メニュー 基本方針の策定、アンケート調査・ヒアリングによる課題抽出、制度・実施計画づくり、評価改善 <p>2. 健康経営導入セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康経営に取り組む事業所の掘起しを目的にセミナーを実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ○年1回 20名程度/回 ○健康経営に積極的に取り組む企業、取組みたい企業、学生 <p>3. 学生の職業観を満す「働きやすい職場づくり」を進める優良企業情報を学生に提供</p> <p>「働きやすい職場づくり推進優良企業Bank」の活用</p> <p>(1)「働きやすい職場づくり推進優良企業Bank」:一定の基準を満たした「働きやすい職場づくり」を進める優良企業のみが参加できるグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒健康経営に積極的に取り組む企業を積極的に登録推進 <p>(2)えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会に協力依頼し、各大学短大からの要請依頼を受け、登録企業に情報発信する。</p>
	事業期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日
	事業費	1,518,189円
活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の 具体的な数値目標の 設定をお願いします。	<p>1. 健康経営アウトリーチ支援 10社 2027年度「健康経営優良法人」申請事業所数 7社以上</p> <p>2. 健康経営導入セミナー開催 20名以上</p> <p>3. 「働きやすい職場づくり推進優良企業Bank」の登録企業数 10%増</p>	

【中小企業振興円卓会議】令和8年度専門部会 収支予算書

1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘要 (積算基礎等)
活動費	1,400,000 円	
法人会負担	118,189 円	
	円	
	円	
合 計	1,518,189 円	

2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要 (積算基礎等)
人件費	675,000 円	日給9,000円×250日×1名×0.3(業務按分割合)
人件費	90,000 円	法定福利費×1名×0.3(業務按分割合) (雇用保険、労災保険、石綿救済法に基づく一般拠出)
人件費	14,760 円	通勤手当 4,100円×12ヶ月×1名×0.3(業務按分割合)
旅費	22,200 円	訪問による車両交通費(@37×50km×12ヶ月)
報償費	290,000 円	セミナー講師 20,000円×1回 専門家派遣 (新規)5,000円×4回×3事業所×専門家2名 (更新)5,000円×3回×5事業所×専門家2名
需用費	100,000 円	チラシ作成費用等
需用費	60,000 円	消耗品費 5,000円×12ヶ月
使用料及び賃借料	10,000 円	会場費
使用料及び賃借料	94,212 円	パソコンリース代 16,000円×12ヶ月×0.3(業務按分割合) 事務所費 8,920円×12ヶ月(実績算出)×0.3(業務按分割合) 光熱費 15,000円×1名(実績算出)×0.3(業務按分割合)
使用料及び賃借料	24,000 円	郵便料、電話料 2,000円×12ヶ月
消費税	138,017 円	消費税10%
合 計	1,518,189 円	

【中小企業振興円卓会議】令和8年度専門部会 事業計画書

活動名	本気の企業を増やす！ワークイノベーション推進会議(仮名)の立ち上げ	
部会名	(仮称)女性活躍推進部会	
部会長・副部会長名	堀田 真奈	
代表団体名	特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ	
構成メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ ・川島高之氏(NPO法人ファザーリングジャパン副代表理事) ・地元企業経営者、専門家(募集予定) 	
活動詳細	<p>現状・課題</p> <p>若者、とりわけ若い女性が県外に流出し、人口減少に伴い企業の人手不足が危機的に加速している。 働きやすさは標準装備となっており、「働きがい」を作り出すことが地方の中小企業にとっては明暗を分ける状況。 そこで、豊岡市 ※ を参考モデルとした取り組みを行う。 ※豊岡市は、若い女性の地方回復率が低いことを人口減少の大きな要因と捉え、ジェンダーギャップ解消を若者定着のための重要戦略としている。そのために、市役所と地元企業が連携し、ワークショップや戦略策定を通じて職場・家庭・地域・学校などまち全体でのジェンダー平等を目指している。</p>	
	<p>活動内容</p> <p>本気の企業や経営者【だけ】を応援する。対象となった企業は豊岡市を参考にした、「ワークイノベーション推進会議(仮)」のような委員会を立ち上げる。 この委員会のトップを社長もしくは幹部が担い、専門家などの外部委員を入れる。</p> <p>参考:豊岡市事例 市役所 :ワークショップを通じて女性の意見を聞き、育児休業取得者の増加や女性管理職の割合増加など、職員の働き方の変革を進めました。 地元企業:「ワークイノベーション推進会議」を立ち上げ、研修やワークショップを通じて企業における働き方や女性の育成・登用を促しました。 全体ファシリテーター:川島高之氏(伊予銀行の管理職研修を8年以上担当)</p>	
	事業期間	令和8年4月1日 ~ 令和9年3月31日
	事業費	1,470,000円
活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の具体的な数値目標の設定をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ・危機感を持つ経営者が増える ・実践する経営者が増える ・個社で動くだけでなく、地域全体で、若者や女性を育てていこうという機運が育つ 	

【中小企業振興円卓会議】令和8年度専門部会 収支予算書

1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘要(積算基礎等)
円卓会議活動費	1,470,000 円	
	円	
	円	
	円	
合 計	1,470,000 円	

2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要(積算基礎等)
謝金	810,000 円	経営者向け全体ファシリテーター(川島高之氏) 330,000円 委員会専門家: 30,000円×4回×4人
旅費交通費	100,000 円	豊岡市担当者旅費(1回)
会場費	円	無償の場所をお借りする
企画管理費	500,000 円	勉強会やミーティング、講師調整などの人件費や交通費 月50,000程度×10か月
通信費	50,000 円	パソコンリース 5,000円×10か月
消耗品費	10,000 円	文具や当日の水など
	円	
	円	
	円	
合 計	1,470,000 円	

【中小企業振興円卓会議】令和8年度専門部会 事業計画書

活動名	新たな時代に挑む中小企業の「経営力」	
部会名	経営力向上部会	
部会長・副部会長名	桑波田 健	
代表団体名	愛媛県中小企業家同友会	
構成メンバー	愛媛県中小企業家同友会、松山ローカル大学	
活動詳細	現状・課題	<p>中小企業白書では、2024年度の中小企業の動向として物価、金利、人件費の上昇と、構造的な人手不足等、様々な厳しい状況があることが指摘されている。</p> <p>また、一方で、市内大学では、情報学部・学科等が設置され、デジタル人材の育成が進んでおり、企業側の雇用の受け皿作りが求められている。</p> <p>このような中で、現在の中小企業に求められている「経営力」を向上させるための講座を開催するとともに、学生が市内中小企業の取組を知る機会を作り、本市への定着を目指すこととする。</p>
	活動内容	<p>○新たな時代に挑む中小企業の「経営力」養成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要 市内中小企業経営者を対象に、全4回の「経営力」に関する講座を実施。(1)～(3)は30人規模、(4)のみ、100人規模で、学生も対象とする。 ・時期 2026年夏～秋頃 ・場所(案) (1)～(3) 二番町ホール(定員30名程度) (4) 松山三越E3ホール(定員100名程度) ・内容(案) (1)～(3) 次の内容で3回程度の講座を実施予定。中小企業経営者による報告とグループ討論を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・経営者の自己研鑽と事業意欲が企業発展の原動力 ・経営指針の確立が企業発展の王道 ・社員の採用と社員教育による企業革新 (4)デジタル活用と「経営力」 松山市内企業の経営基盤強化と新たな事業展開を支援するとともに、学生に地域企業の魅力を伝えるため、県外や先進企業の知見や市内企業の魅力的な取組に触れる講座。スタートアップ企業やAIの活用に向けた企業を講師に招く。また、交流会を実施することで、若者の地元への定着にもつなげる。
	事業期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
	事業費	1,128,000円
活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の 具体的な数値目標の 設定をお願いします。	<p>講座開催回数:4回 参加人数:(1)～(3)30名 (4)100名</p>	

【中小企業振興円卓会議】令和8年度専門部会 収支予算書

1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘要(積算基礎等)
活動費	1,128,000 円	
	円	
合 計	1,128,000 円	

2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要(積算基礎等)
報償費	94,000 円	講座(1)~(3)で報告いただく経営者3名分 ※交通費、宿泊費込み
使用料及び賃借料	30,000 円	会場費1回10,000円×3=30,000円 ※講座(1)~(3)
印刷製本費	126,000 円	チラシ代、商工会議所会報誌への折込み代 ※講座(1)~(3)
委託費	878,000 円	委託先:松山ローカル大学 ※講座(4) 人件費、印刷費、講師関係費、会場費、チラシ郵送費、 資料印刷費等
	円	
	円	
合 計	1,128,000 円	